

第33回ハトマークフェアプレーカップ東京都4年生サッカー大会10ブロック予選要項

日程 平成26年5月6日～18日（予備日：5月25日）

会場 別紙参照

大会方式 1. 一次リーグ（41チーム）→二次リーグ（16チーム）→決勝トーナメント（8チーム）で行う。参加45チームの内、前年度アスティークカップブロック大会ベスト4のチームを第1から第4シードとし二次リーグから出場、ベスト5～8を第5シードとする。
一次リーグは第1から第4シードを除く41チームで行い、2・3・4・6・10組を4チームリーグ、その他を3チームリーグとし、各組1位が二次リーグに進出する。二次リーグは第1～4シードを含む16チームで行い、A～D組を4チームリーグとし、各組上位2チーム（8チーム）が決勝トーナメントに進出する。
決勝トーナメントの1～3位を中央大会へ推薦する。ただし、推薦に値しないとブロック役員会で判断した場合は4位のチームを推薦する場合がある。

2. 一次リーグ、二次リーグにおいては勝点制（勝ち=3、引き分け=1、負け=0）とするが、同勝点の場合は、①得失点差 ②総得点 ③当該チームでの結果 ④大会中の警告、退場の少ない方 ⑤コイントスの順に順位付けをする。

3. 決勝トーナメントで同点の場合は、5人によるPK戦にて決定する。但し、決勝戦は前後半各5分の延長戦を行った上、同点の場合はPK戦にて決定する。

競技規則 1. 日本サッカー協会「2014年度競技規則」による。

2. 8人制による競技とする。登録選手全てをエントリーできる。

その試合で、退場や怪我などで5人未満になった場合は試合不成立とする。なお、その後の試合開始前に7人未満の場合も同様とする。不戦敗試合は、相手チームに勝ち点3を与え、スコアは0-0とする。

交替は、交替ゾーンの中で交替で入る選手が自ら交替する選手を呼んで行う。（フットサル形式）但し、GKの交替はアウトオブプレー中に主審の許可を得て行う。

3. キックオフゴールは認めない。キックオフのボールが直接ゴールに入った場合は守備側のゴールキックで再開する。

4. 試合時間は一次リーグ15-5-15、それ以降20-5-20分とする。

5. 試合中退場処分を受けた者は、次の試合1試合に出場できない。警告回数が2に達した場合も同処置とする。

ただし、退場を受けたのが前半だった場合、後半は8人で行うことができる。

6. 試合球は4号ボール（各チームより抛出。空気圧0.6）を使用。スパイクは固定式に限る。すね当てを必ず着用する。

7. コートの大きさは、縦60m、横40mを基本とする。ただし、ゴール固定の会場については、出来る限りこの大きさにすることを望むが、やむをえない場合は、各会場の責任者に一任する。

審判 1. 各チームから1名、合計2名で構成。審判服、審判章を必ず着用する。

チームで責任の持てる審判員を派遣し規定の審判服を着用する事。 審判証を本部に提示する事。

2. 一次リーグ、二次リーグにおいては、別紙割り当て表のとおりとする。

3. 決勝トーナメントにおいては、組み合わせ表の通りとする。但し、準決勝、3決、決勝、可能な限り審判部及び本部でおこなうが、当日いるチームに依頼することもある。

注意事項 1. 悪天候による中止等は、当日の第1試合開始2時間30分前までに決定する。

2. 会場準備は、会場責任チームが中心となり、第1試合、第2試合のチームから各2名以上の協力によりおこなう。遅くとも第1試合開始1時間前には集合する事。

3. メンバー表は試合開始30分前までに2枚を本部に提出する事。（連続で試合を消化する場合は、速やかに提出）選手証も併せて提出する事。ユニフォーム正副も持参する事。

4. メンバーチェックは、試合開始10分前に本部に集合しておこなう。

5. ユニフォームは色の異なる正副2着（正副で番号が違うものは可）を必ず用意すること。なお、第一試合の際に上記の件が守られていない場合は、失格とする場合がある。

6. 試合の際、ベンチには監督1、コーチ2の3名とその試合のエントリーした選手だけが入る。先発以外の選手はユニフォーム姿のままベンチに座らない事。（指導者は最低2名入らなければならない）

7. 応援は本部にて決められた場所にておこなう事。

8. 各会場の注意事項をしっかり把握すること。特に駐車制限台数、スペースを守り（路上駐車厳禁）、必ず「駐車票」を掲示すること。違反した場合当大会の失格や今年度、及び来年度の各大会の会場に駐車することを禁止する場合があります。
9. 片付けは、最終試合の2チームが本部の指示に従い行う事。

検討事項

当大会のベスト8は、来年度、J A東京カップのシードとする。